



チッキー

# NPO法人アスレチッククラブ町田

(町田ゼルビアスポーツクラブ)

2019.4.21 in 町田市立陸上競技場「ふれあいサッカー」



クラちゃん



▲「ふれあいサッカー」終了後の記念撮影。150名の笑顔があふれている

東京都町田市を拠点に活動するNPO法人アスレチッククラブ町田は、2003年に設立され、現在の会員数は小学生を中心に約900人。サッカー、タッチラグビー、チアリーディング、ダンスなどの活動を行っています。

サッカー J2町田ゼルビアの試合後に開催している小学生以下の子供を対象とした「ふれあいサッカー」は、地元サッカークラブと地域住民との交流を目的としてスタートさせたもの。

「この地域にこのチームがあって良かったと思ってもらうために自分たちができるとして考えたのが、このふれあいサッカーでした」と守屋理事長。町田ゼルビアが東京都社会人リーグ一部だった時代から、15年以上も続いているイベントをクラブが引き継いだものです。

試合の来場者の中から先着150名が参加可能で、毎回定員いっぱいになるほどの高い人気を誇ります。「子供の夢の創造に寄与する」というチーム理念のもと、実際にプロの選手たちがプレーした同じグラウンドで、選手たちと一緒にボールを蹴ることができるといったプログラムを展開することで、子供たちにとって夢のような時間をつくっています。楽しそうに走り回る子供たちの姿がとても印象に残りました。

▶女子のスポーツを盛んにしたいという思いもあり、「ふれあいサッカー」は、女子だけのグループを用意している。未経験でも気軽に参加できる



### クラブプロフィール

【設立】2003年

【所在地】東京都町田市

【活動場所】小野路公園グラウンド、ゼルビアフットボールパークなど

【活動種目】スポーツ4種目(サッカー、タッチラグビー、チアリーディング、ダンス)、文化1種目

【特徴】

- サッカーでは、女子や親子サッカー、インクルーシブサッカーなどの様々なプログラムを実施。子供の発達に適合しているスポーツ機会の提供と、女子スポーツ、混合スポーツに力を入れている。
- 子供の多面的な成長をはかるため、農業体験イベントを実施。スポーツだけではなく、多彩な体験ができるよう工夫している。
- Jリーグの下部組織として体制を整えつつ、ホームタウン事業(地域貢献活動)として地域と連携した事業を展開している。
- 教室のインストラクターは町田市の人材を採用。

【連絡先】

URL: <http://acmachida-zelvia.com/>



最後はふれあいサッカーに参加した選手たちがハイタッチで子供たちをお見送り



▲プロの選手たちがプレーしていたピッチで子供たちが楽しそうに駆け回る

▶「活動拠点ができればもっといろいろなスポーツができると思うので、そんな環境をつくりたい。スポーツを中心に地域のいろいろな人をつなげていきたいです」と守屋実理事長



## …こんな活動も! 「いもづるの会」& 「出前サッカー」…

クラブのスタッフが出張してサッカーを指導する「出前サッカー」や農業体験イベント「いもづるの会」など、地元に着した活動にも積極的に取り組んでいます。農業体験の発端は、スポーツ選手を知るためにスポーツ栄養学の講習を行ったことです。ここから実際にどうやって食べ物ができるのかを知るために、農業体験に発展していきました。現在は小学生や幼稚園児を中心に多くの子供たちが農業体験をしています。スポーツをきっかけとした地域のネットワークで、「いもづる式」に人々の輪が広がっているのも、このNPO法人アスレチッククラブ町田の魅力の一つです。



- ▲「いもづるの会」ではタケノコ掘りや、秘密基地づくりなども行われる
- ◀こちらは「出前サッカー」の様子。町田市内や町田市周辺の小学校や幼稚園などを訪問している